

県東部

創業の町にあずまや寄贈

朝日 朝日町で創業した総合建設業の深松組（本社・仙台市、深松努社長）は30日、創立90周年を記念して同町笹川の町ふるさと移住交流体験施設「さゝ郷ほたる交流館」横に建てたあずまやを同町に寄贈した。

同社は1925年に同町笹川の故深松幸太郎さんが創業し、水力発電所建設などを行ってきた。53年に有限会



社となり、本社を仙台市に移転。54年に株式会社に組織変更した。同町沼保に北陸支店がある。

あずまやは木造で2.7坪四方の敷地に建ち、高さは3坪。景色を楽しみながら夕涼みやホタル観賞、バーベキューなどができる。

式では深松社長＝写真左＝が「今後もルーツの笹川や町に貢献していきたい」とあいさつし、笹原町長＝同右＝に目録を手渡した。町長と小林茂和笹川自治振興会長が謝辞を述べた。深松社長らが除幕した。

朝日町に東屋を寄贈

深松組が創立90周年で



菅原町長(左)から感謝状を贈られる深松社長

深松組(本社/宮城県仙台市青葉区、北陸支店/朝日町沼保)は創立90周年を記念し、創業の地である朝日町に東屋を寄贈した。11月30日に、ふるさと移住体験施設設置「さゝ郷 ほたる交流館」で贈呈式が行われ、深松努社長が菅原靖直町長に目録を贈呈し、お礼

に菅原町長から感謝状が贈られた。

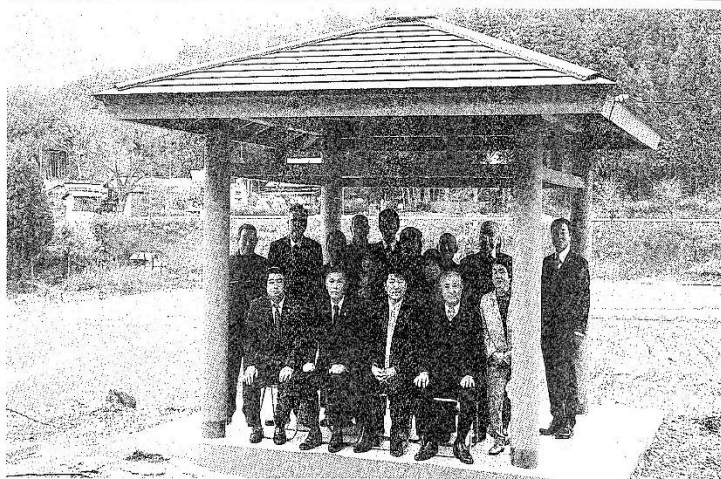
同社は、朝日町で水力発電所建設の施工を主な事業に、1925(大正14)年に深松幸太郎氏の個人経営として創業。1953(昭和28)年に有限会社に組織変更し、本社を仙台市に移転した。1954(昭和29)年に株式会社組織変更し、現在に至っている。

地域住民も出席した贈呈式では、深松社長が「100、110周年と迎えられるようがんばり

たい。これからも笹川地区に貢献したい」とあいさつ。菅原町長が「東屋を寄贈していただき感謝します」、小林茂和笹川自治振興会長が「地域住民も利用させてもらいます。深松組がますます発展しますように」とそれぞれ謝辞を述べた。最後に深松社長、菅原町長、

小林笹川自治振興会長によるテープカットが行われた。

東屋(3・3平方メートル×3・3平方メートル、屋根下までの高さ約2・5メートル)は「さゝ郷 ほたる交流館」の敷地内に設置され、交流館利用者の憩いの場、地域住民の交流の場として活用される。



深松社長(前列左から3人目)や地域住民らによる記念撮影

2015年12月17日掲載 日刊建設工業新聞

深松組（仙台市青葉区、深松努社長）は、創業地の富山県朝日町にあずまやを寄贈した。創立90周年記念事業の一環で、11月30日に



笹原町長（右）に目録を渡す
深松社長。奥が完成した
あずまや

創業地にあずまや寄贈

深松組 創立90周年記念し富山・朝日町に

同町の笹原靖直町長に深松社長が目録を贈呈した。笹原町長からは感謝状が贈られた。

寄贈したのは、幅と奥行き、高さとも約3.5mのあずまや。さく郷ほたる交流館（笹川）の敷地内に設置した。同館利用者や地域住民の交流・憩いの場として活用される。

同社は深松幸太郎氏が1925年に同町の水力発電所建設の施工を手掛けようと個人経営で創業した。53年に有限会社に組織変更し、本社を仙台市に移した。54年に株式会社となり現在に至っている。

感謝状

株式会社深松組
代表取締役社長 深松 努 殿

貴社には平素より地域の振興に格別のご理解を賜りこのたび朝日町ふるさと移住交流体験施設と、郷ほたる交流館に施設備品のご寄付をいただきました。ここにその厚志に対し深く感謝の意を表します。

平成二十七年十月三十日

朝日町長 笹原 靖直





